

Hotel Intern in BALI



アップカテゴリーのゲストだけが使えるクラブハウスでの研修も経験。プールサイドでくつろぐゲストにドリンクを運んだりもした



広い敷地内の中央にはラグーンが広がり、トロピカルな雰囲気満点のアヨディア・リゾート・バリ



ゲストリレーションとして働く仲間たち。左の2人はロシアから来ているのだとか

日本人ゲストや旅行代理店からの電話の応対も中野さんの仕事



客室に置く日本語のインフォメーションを作ったり、メールでの問い合わせに答えたり、コンピューターを使った仕事も多い



Guest Relations
日本語デスク
РУССКИЙ СОТРУДНИК



仕事中の食事は、ホテル内のレストランで取ることができる。ラグーンサイドの気持ちの良い空間で、風を感じながらの食事に心も休まる



現地のことをより多く知るために、インドネシア語の勉強も怠らない。日本から持ってきた会話本や電子辞書、現地で買った英イ辞書なども大活躍

バリ島 高級ホテルインターン 体験レポート

思い切って行動してよかった！ 親切な人々に囲まれ充実した毎日

人とのつながりを大切にしている中野さんは、インターン期間が終わってもバリ島にとどまり、ホテルでの仕事を続けていきたいと願っている。そのために、ゲストリレーション本来の仕事だけでなく、セールスのお手伝いなど、いろいろな仕事に積極的に関わって、日本人である自分にはできないことをこなし、周りの人たちにアピールしているそう。

「思い切って来てみてよかったです」と思っています。知らない人たちの中に一人で飛び込んだことよって、人の温かさを知りました。上司や同僚、コス（インドネシア式アパート）の仲間など、私の周りには中庭で彼らとおしゃべりするのを楽しもうと、英語やインドネシア語を耳から覚え、バリ式の考え方や生活を知るための勉強にもなる。職場ばかりでなく、コスにもほかに日本人がいないため、日本語は一切使えない。そのおかげで語学力がつき、ものおせせずに話せるようになったという。

英語も接客業も、もともと好きだったという中野さんにとっては、英語環境の中に身を置きながら、海外のリゾートホテルで接客が学べることも魅力のひとつだった。

職場でも家でも日本人一人だからこそ語学力もアップ！

「旅行で来たバリ島が大好きになり、いつかここで働きたいと思っていました。日本にいるときは『あの国でこれがやりたい！』を毎号欠かさず愛読しながら、『いつかは私も』と夢見ていたんです。けれど、夢見ているだけではダメだ、思ったことは行動しないと何十年先まで後悔してしまうと思って決断しました」

そんな中野さんがバリ島にやって来たのは今年6月。

「旅行で来たバリ島が大好きになり、いつかここで働きたいと思っていました。日本にいるときは『あの国でこれがやりたい！』を毎号欠かさず愛読しながら、『いつかは私も』と夢見ていたんです。けれど、夢見ているだけではダメだ、思ったことは行動しないと何十年先まで後悔してしまうと思って決断しました」

世界的な観光地バリ島にある5つ星ホテル「アヨディア・リゾート・バリ」でインターンとして働く中野さんの仕事はゲストリレーション（お客様係）。日本人ゲストが快適に滞在できるように案内するほか、通訳、クレーム対応、日系旅行代理店のインスペクション（見学）案内など、日本人に関わる仕事を任されている。「日本人スタッフは私一人なので、みんなが頼りにしてくれるんです。それがうれしくて、期待に応えたいと思っています」と語るその笑顔からは日々の充実感がうかがえる。

頼りにされるのがうれしくてみんなの期待に応えたい！

中野 彩さん (28歳)
Hikari Nakano



千葉県出身。大学の法学部を卒業後、エステティシャンとして5年間勤務。その間、3回ほど旅行で訪れたバリ島で、その間に培ってきた接客業のスキルをいかして働きたいという思いがつのり、1年間のホテルインターンの道へ。

中野さんが参加したプログラム

株式会社ホスピタリティ
トラジャルインターンシップ
トラジャルインターンシップは、1年間で65万円。高級ホテル、クルーズなど研修先は多数あり、自分に合った受け入れ先を紹介してもらえる。インターン期間中は、宿泊、食事、おごつかいを提供してくれる受け入れ先がほとんどで、年間の総費用は留学やワーキングホリデーの2分の1から3分の1で済むのが特徴。興味のある方は、無料セミナーや個別説明会に参加してみよう！

お問い合わせ先
☎03-5386-3081 (東京)
☎06-6578-0202 (大阪)
www.trajal-internship.jp/
プログラム一括資料請求 NO.TRJ1999-46A

